

行動計画の期間延長について（報告）

1 趣旨

総務省の「公立病院改革ガイドライン」において、経営効率化に係る部分は「3年」を目安とされていることを踏まえ、行動計画の計画期間については、23年度までの3年間としてきたが、改革プランの実現に向けて、経営改革を一層推進する必要があることから、改革プランの最終年度である平成25年度まで計画期間を延長した。

2 ポイント

- 重点取組事項の取組年度を平成 25 年度まで延長した。

（原則として、従来の取組を継続。ただし、状況変化があるものは、実態に即して見直し。）

- 平成 24、25 年度の共通目標値を設定した。

（既に収支計画上、目標設定されているものを除き、原則として、各病院の実績等を踏まえ設定。ただし、状況変化があるものは、実態に即して見直し。）

平成 25 年 1 月 1 1 日

病 院 局

新旧対照表

新	旧
第1 改革プランの概要	同左
1 策定の趣旨	
(略)	
2 位置付け	
(略)	同左
3 計画期間	
(1) (略)	
(2) 経営健全化等に向けた行動計画：5年間（平成21～25年度）	
4 進行管理等	同左
(略)	
第2 県立病院の現状と課題	
(略)	
第3 県立病院の在り方	同左
(略)	
第4 行動計画	
1 基本的な考え方	
(略)	

基本方針 1：良質な医療サービスの提供

《患者さんの視点》

1 方針

(略)

2 共通目標と重点取組事項

目標 1 ・医療の質の向上

(略)

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度				
		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
共通取組	◆病院機能評価の認証更新 医療の質の向上と信頼の確立を目的として、財団法人日本医療機能評価機構が中立的な立場で医療機関の機能を評価・審査する病院機能評価の認定更新を図る。	【見直】更新 矢吹病院	【見直】更新 南会津病院	【見直】更新 宮下病院	【見直】更新 宮下病院 ※23 年度見送り	【一】※認証更新済
	◆インフォームド・コンセントの充実 良質な医療の提供を図るため、患者さんに対する的確な診断と治療はもとより、診断内容、治療計画さらには副作用やリスク等を含めて十分説明し、患者さんが理解、納得した上で治療行為を選択していくインフォームド・コンセントの充実を図る。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
矢吹病院	◆訪問看護の充実検討 今後とも新規退院患者などへのきめ細かな訪問看護を実施する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
	◆デイケア（社会復帰訓練）の充実検討 料理や手芸、スポーツ、季節ごとの行事などのプログラムなどを行うなど、デイケアの充実強化を図る。	【見直】検討 実施	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】

同左

取組機関	取組内容	取組年度		
		21 年度	22 年度	23 年度
共通取組	◆病院機能評価の認証更新 医療の質の向上と信頼の確立を目的として、財団法人日本医療機能評価機構が中立的な立場で医療機関の機能を評価・審査する病院機能評価の認定更新を図る。	【見直】更新 矢吹病院	【見直】更新 南会津病院	【見直】更新 宮下病院
	◆インフォームド・コンセントの充実 良質な医療の提供を図るため、患者さんに対する的確な診断と治療はもとより、診断内容、治療計画さらには副作用やリスク等を含めて十分説明し、患者さんが理解、納得した上で治療行為を選択していくインフォームド・コンセントの充実を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
矢吹病院	◆訪問看護の充実検討 今後とも新規退院患者などへのきめ細かな訪問看護を実施する。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆デイケア（社会復帰訓練）の充実検討 料理や手芸、スポーツ、季節ごとの行事などのプログラムなどを行うなど、デイケアの充実強化を図る。	【見直】検討 実施	【継続】	【継続】

	◆ 心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関としての指定検討 触法精神障害者の専門的入院治療と社会復帰を支援する医療体制の充実に向けて検討する。	【新規】 検討開始	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
喜多方病院	◆ 受診枠の拡大による健康診断及び人間ドック充実 地域の要望に対応するため、1日当たりの受診枠を拡大して、健康診断・人間ドック事業を充実する。	【見直】 受診枠拡大	【継続】	【継続】	【継続】 ※閉院準備のため 9月末で終了	【－】
会津総合病院	◆ 電子カルテシステム導入による医療の質の向上 患者さんに対する画面上での説明や待ち時間の短縮による患者サービスの向上のほか、データベースに蓄積された診療情報を症例研究に活用することで、質の高い医療を提供する。	【新規】 21年3月稼働	【継続】	【継続】	【継続】	【－】 ※会津医療センター移行

取組機関	取組内容	取組年度				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
会津総合病院	◆ チーム医療の推進 医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師などが一体となり、多職種で各疾患治療に応じた栄養管理を適切に実施するNST（栄養サポートチーム）の充実を図るなど、チーム医療の推進を図る。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【－】 ※会津医療センター移行
宮下病院	◆ 診療圏域内唯一の病院として質の高い安定的な医療の提供 地域の方々が安全に安心して暮らしていけるよう、診療圏域内唯一の病院として、常勤医師の確保・定着に向けた取組みを強化していくとともに、県立医科大学や会津総合病院等との連携を強化しながら、高齢化が急速に進展する地域特性に対応した医療を継続して提供する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
	◆ 訪問診療・訪問看護による在宅医療への支援 地域の保健・医療・福祉関係機関との連携を強化しながら、訪問診療・訪問看護の充実を図り、在宅医療への支援を強化する。	【継続】	【見直】 実施回数増	【継続】	【継続】	【継続】
	◆ 健康診断・人間ドック事業の充実 健康診断を担当する内科医師を配置するとともに、受診項目の充実や料金体系の見直しを行い、健康診断・人間ドック事業の拡充を図る。	【見直】 料金体系	【見直】 受診枠拡大	【継続】	【継続】	【継続】

	◆ 心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関としての指定検討 触法精神障害者の専門的入院治療と社会復帰を支援する医療体制の充実に向けて検討する。	【新規】 検討開始	【継続】	【継続】
喜多方病院	◆ 受診枠の拡大による健康診断及び人間ドック充実 地域の要望に対応するため、1日当たりの受診枠を拡大して、健康診断・人間ドック事業を充実する。	【見直】 受診枠拡大	【継続】	【継続】
会津総合病院	◆ 電子カルテシステム導入による医療の質の向上 患者さんに対する画面上での説明や待ち時間の短縮による患者サービスの向上のほか、データベースに蓄積された診療情報を症例研究に活用することで、質の高い医療を提供する。	【新規】 21年3月稼働	【継続】	【継続】

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
会津総合病院	◆ チーム医療の推進 医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師などが一体となり、多職種で各疾患治療に応じた栄養管理を適切に実施するNST（栄養サポートチーム）の充実を図るなど、チーム医療の推進を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
宮下病院	◆ 診療圏域内唯一の病院として質の高い安定的な医療の提供 地域の方々が安全に安心して暮らしていけるよう、診療圏域内唯一の病院として、常勤医師の確保・定着に向けた取組みを強化していくとともに、県立医科大学や会津総合病院等との連携を強化しながら、高齢化が急速に進展する地域特性に対応した医療を継続して提供する。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆ 訪問診療・訪問看護による在宅医療への支援 地域の保健・医療・福祉関係機関との連携を強化しながら、訪問診療・訪問看護の充実を図り、在宅医療への支援を強化する。	【継続】	【見直】 実施回数増	【継続】
	◆ 健康診断・人間ドック事業の充実 健康診断を担当する内科医師を配置するとともに、受診項目の充実や料金体系の見直しを行い、健康診断・人間ドック事業の拡充を図る。	【見直】 料金体系	【見直】 受診枠拡大	【継続】

南会津病院	◆透析機器の増設による透析機能の強化 透析患者の利便性向上や透析患者の増に向けて、透析設備の増設を図る。	【新規】 5台増設	【見直】 検討	【継続】	【継続】	【継続】
	◆健康診断・人間ドック事業の充実 地域の要望に対応するため、平成20年度より開始した人間ドックの受診枠を拡大して充実を図る。	【見直】 受診枠拡大	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
大野病院	◆内科医師の確保による健康診断事業の充実 特定検診・特定保健指導や地域のニーズに対応できる健康診断事業の実施・充実に努める。	【継続】	【継続】	【継続】	【－】 ※休診	【－】

目標2

・患者サービスの向上

(略)

○ 共通目標

患者満足度調査での満足感

21年度目標値
76%以上

22年度目標値
80%以上

23年度目標値
85%以上

24年度目標値
85%以上

25年度目標値
88%以上

*H23年度の患者満足度調査は、震災対応により未実施

22年度実績値（23年度未実施）
75.1%

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
共通取組	◆患者アンケート調査や接遇向上委員会による接遇の向上 患者アンケート調査やご意見箱の設置などにより、患者さんのニーズや意見を把握できる体制を整えとともに、定期的に接遇向上委員会を開催し、接遇技術の向上を図るための研修会やロールプレイ等の学習会を企画するなど、患者さんの立場に立った接遇サービスの向上を図る。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】

同左

患者満足度調査での満足感

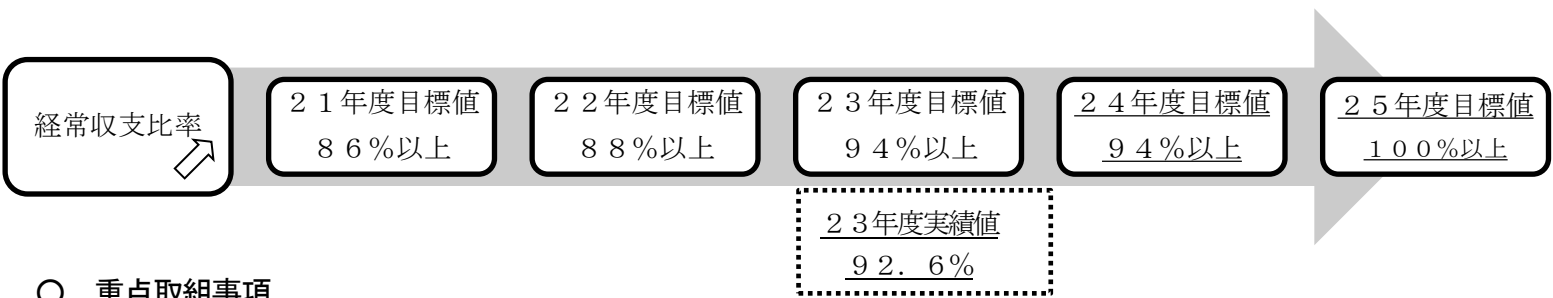
21年度目標値
76%以上

22年度目標値
80%以上

23年度目標値
85%以上

同左

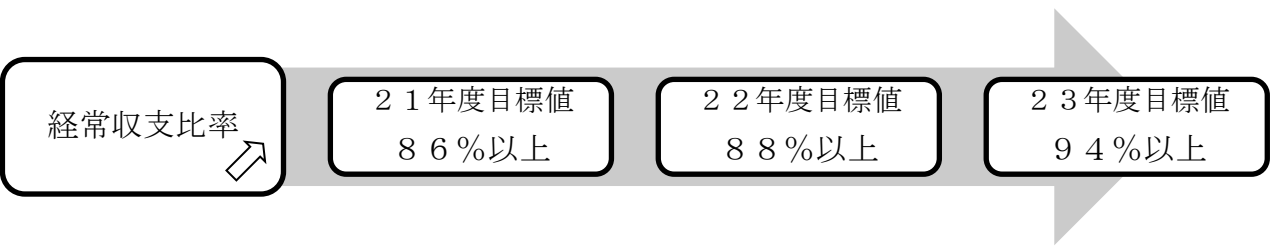
○ 共通目標



○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
共通取組	◆常勤医師の確保 関係機関等と連携しながら、常勤医師を確保することで、安定的な診療体制の確立を図る。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
矢吹病院	◆看護補助加算1の算定 看護補助加算1の算定を開始し、より高い入院基本料等加算の取得により、収益増を図る。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
	◆外来患者に対する精神科作業療法の実施 精神科作業療法については、入院患者を対象に実施しているが、今後、外来患者のニーズを把握し、外来部門とOT部門の連携方法等の具体策について検討する。	【新規検討実施】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
会津総合病院	◆コメディカルスタッフの確保 リハビリテーションに関する施設基準への対応を図るため、コメディカルスタッフ（OT（作業療法士）・PT（理学療法士））の確保を図る。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【一】※会津医療センター移行
	◆DPC・電子カルテ・クリニカルパスの有効活用等による入院収益の増 疾病ごとの入院収入と投下医療資源についての管理を強化し、収益増を図るため、電子カルテ機能を十分に活用するとともに、クリニカルパスの作成見直しを行う。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【一】※会津医療センター移行
宮下病院	◆診療科目の充実 診療科目の充実を図るなど、県立医科大学や会津総合病院等との連携を強化しながら、県内で高齢化率が一番高い地域の特性に的確に対応した医療を提供する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】

} 同左



} 同左

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆常勤医師の確保 関係機関等と連携しながら、常勤医師を確保することで、安定的な診療体制の確立を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
矢吹病院	◆看護補助加算1の算定 看護補助加算1の算定を開始し、より高い入院基本料等加算の取得により、収益増を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆外来患者に対する精神科作業療法の実施 精神科作業療法については、入院患者を対象に実施しているが、今後、外来患者のニーズを把握し、外来部門とOT部門の連携方法等の具体策について検討する。	【新規検討実施】	【継続】	【継続】
会津総合病院	◆コメディカルスタッフの確保 リハビリテーションに関する施設基準への対応を図るため、コメディカルスタッフ（OT（作業療法士）・PT（理学療法士））の確保を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆DPC・電子カルテ・クリニカルパスの有効活用等による入院収益の増 疾病ごとの入院収入と投下医療資源についての管理を強化し、収益増を図るため、電子カルテ機能を十分に活用するとともに、クリニカルパスの作成見直しを行う。	【継続】	【継続】	【継続】
宮下病院	◆診療科目の充実 診療科目の充実を図るなど、県立医科大学や会津総合病院等との連携を強化しながら、県内で高齢化率が一番高い地域の特性に的確に対応した医療を提供する。	【継続】	【継続】	【継続】

	◆訪問診療の充実による外来患者の確保 訪問診療等の充実により、患者サービスの向上や外来患者の確保を図る。	【継続】	【見直】 回数増	【継続】	【継続】	【継続】
--	---	------	-------------	------	------	------

取組機関	取組内容	取組年度				
		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
宮下病院	◆無料送迎バスの効率的な運行（再掲） 外来患者の利便性向上や収益増に向けて、無料送迎バスの効率的な運行を図る。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
南会津病院	◆D P C 病院への移行による収益の確保 D P C（包括支払制度）病院への移行に向けて、引き続きD P C 準備病院としてデータの収集等を行う。	【継続】	【継続】	【継続】	【－】 ※検討 終了	【－】
	◆透析機器の増設による透析機能の強化（再掲） 透析患者の利便性向上や透析患者の増に向けて、透析設備の増設を図る。	【新規】 5 台増 設	【見直】 検討	【継続】	【－】 ※ 達 成 済	【－】
大野病院	◆薬剤管理指導の効率的な実施 収益の確保を図るため、薬剤管理指導を効率的に実施する。	【継続】	【継続】	【継続】	【－】 ※休診	【－】
	◆亜急性期入院医療管理料の導入 新たな収入の確保を図るため、急性期治療を経過した患者に対し、在宅復帰支援に向けた亜急性期病床を設置する。	【新規】 実施	【継続】	【継続】	【－】 ※休診	【－】
病院局	◆県立病院収益確保対策プロジェクトの実施 平成 2 2 年度診療報酬制度改定やD P C 導入への対応、地域連携の強化による患者確保などに向けた対策を講じるため、経営改善に向けて組織されている病院経営検討会に、実務担当者レベルのメンバーを加え発展させ、定期的に部門横断的な検討を行い、具体的に取り組む。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実
	◆未利用財産の売却 病院事業財産を活用することにより収益確保を図るため、公舎跡地等未利用財産の売却を進める。	【新規】 検討 実施	【継続】 検討 実施	【継続】	【継続】	【継続】
	◆外部意見による経営評価 県立病院事業の経営改善に向けた取組状況について、有識者で構成される第三者機関である県立病院経営評価委員会の評価を受けるなど、多様な意見を取り入れながら一層の経営健全化を図る。	【見直】 検討 実施	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】

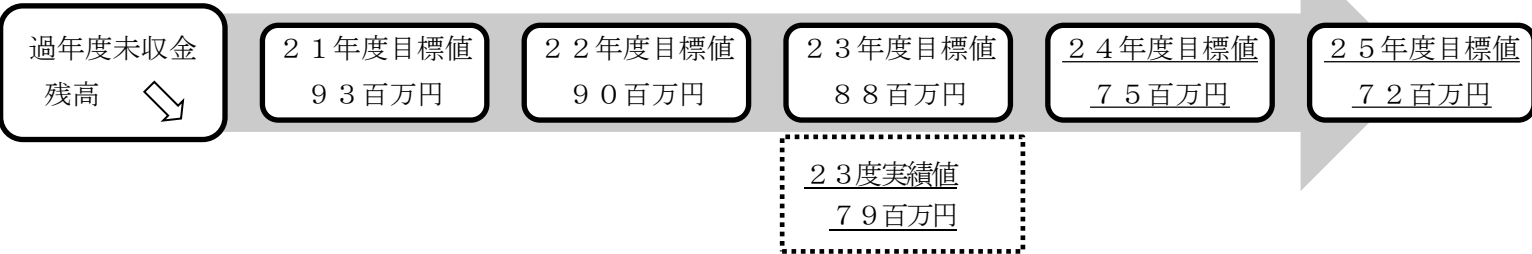
	◆訪問診療の充実による外来患者の確保 訪問診療等の充実により、患者サービスの向上や外来患者の確保を図る。	【継続】	【見直】 回数増	【継続】
--	---	------	-------------	------

取組機関	取組内容	取組年度		
		21 年度	22 年度	23 年度
宮下病院	◆無料送迎バスの効率的な運行（再掲） 外来患者の利便性向上や収益増に向けて、無料送迎バスの効率的な運行を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
南会津病院	◆D P C 病院への移行による収益の確保 D P C（包括支払制度）病院への移行に向けて、引き続きD P C 準備病院としてデータの収集等を行う。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆透析機器の増設による透析機能の強化（再掲） 透析患者の利便性向上や透析患者の増に向けて、透析設備の増設を図る。	【新規】 5 台増設	【見直】 検討	【継続】
大野病院	◆薬剤管理指導の効率的な実施 収益の確保を図るため、薬剤管理指導を効率的に実施する。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆亜急性期入院医療管理料の導入 新たな収入の確保を図るため、急性期治療を経過した患者に対し、在宅復帰支援に向けた亜急性期病床を設置する。	【新規】 実施	【継続】	【継続】
病院局	◆県立病院収益確保対策プロジェクトの実施 平成 2 2 年度診療報酬制度改定やD P C 導入への対応、地域連携の強化による患者確保などに向けた対策を講じるため、経営改善に向けて組織されている病院経営検討会に、実務担当者レベルのメンバーを加え発展させ、定期的に部門横断的な検討を行い、具体的に取り組む。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実
	◆未利用財産の売却 病院事業財産を活用することにより収益確保を図るため、公舎跡地等未利用財産の売却を進める。	【新規】 検討 実施	【継続】 検討 実施	【継続】
	◆外部意見による経営評価 県立病院事業の経営改善に向けた取組状況について、有識者で構成される第三者機関である県立病院経営評価委員会の評価を受けるなど、多様な意見を取り入れながら一層の経営健全化を図る。	【見直】 検討 実施	【継続】	【継続】

目標2 ・未収金の発生防止と早期回収の強化

(略)

○ 共通目標



○ 重点取組事項

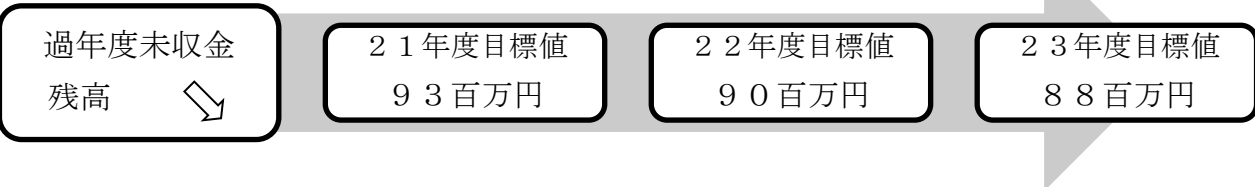
取組機関	取組内容	取組年度				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
共通取組	◆未収金の発生防止と早期回収の強化 医療相談室等と連携しながら、未収金となるおそれのある患者に早期に接触し未収金の発生を防止する。 未収金については、定期的に文書による納付依頼や督促、電話や訪問による納付交渉等を行い早期回収に努める。	【見直】強化	【見直】強化	【見直】強化	【見直】強化	【見直】強化
病院局	◆未収金担当者会議の開催 実務者レベルの会議を定期的で開催し、実効性のある効果的な滞納防止策や回収策を検討し、各病院の共通的な取組みとして実施する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】

目標3 ・費用の見直し

(略)

○ 共通目標

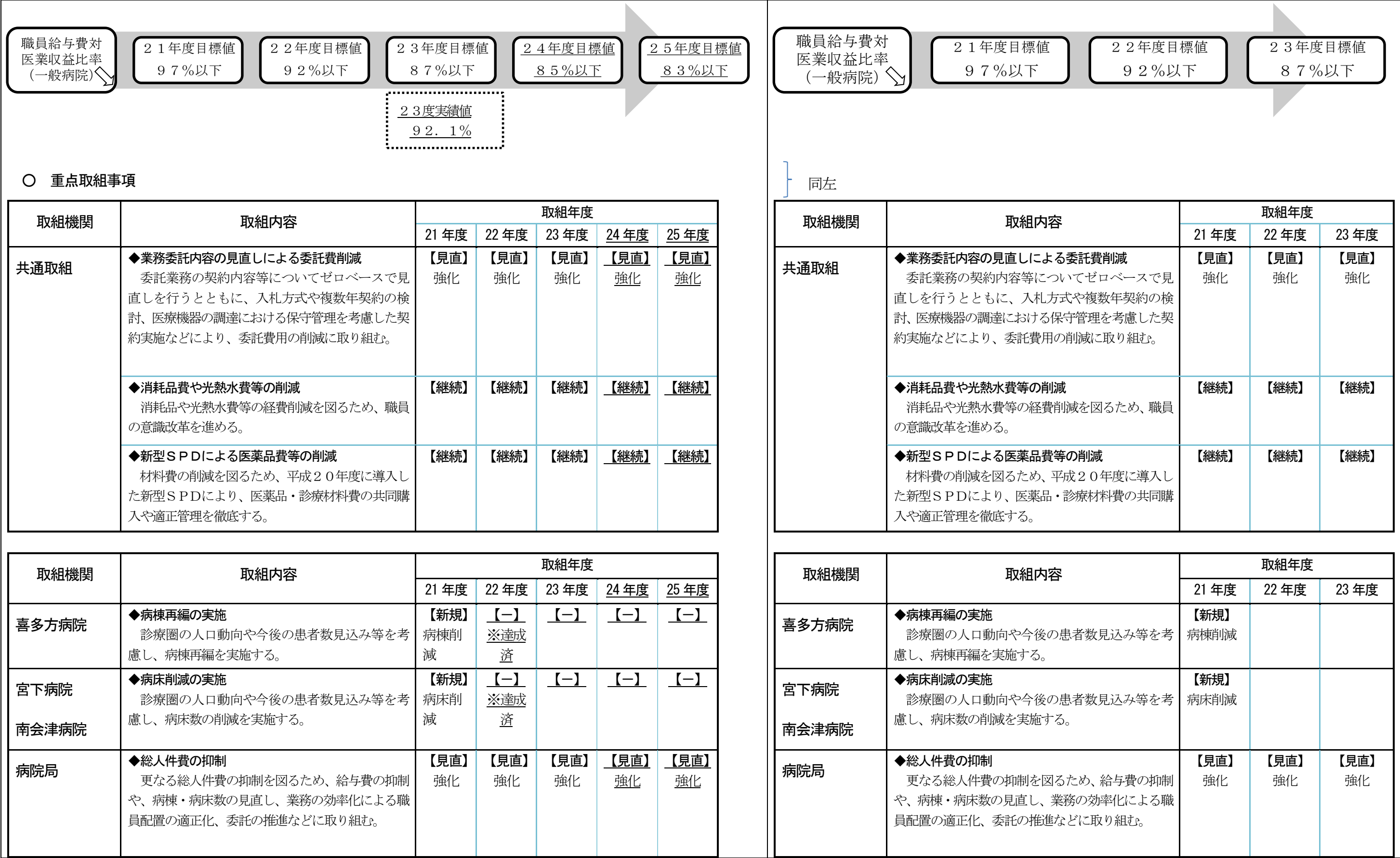
同左



同左

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆未収金の発生防止と早期回収の強化 医療相談室等と連携しながら、未収金となるおそれのある患者に早期に接触し未収金の発生を防止する。 未収金については、定期的に文書による納付依頼や督促、電話や訪問による納付交渉等を行い早期回収に努める。	【見直】強化	【見直】強化	【見直】強化
病院局	◆未収金担当者会議の開催 実務者レベルの会議を定期的で開催し、実効性のある効果的な滞納防止策や回収策を検討し、各病院の共通的な取組みとして実施する。	【継続】	【継続】	【継続】

同左



基本方針 3：医療提供体制の充実強化

《病院の体制整備の視点》

1 方針

(略)

2 共通目標と重点取組事項

目標 1

・診療体制及び経営基盤の強化

(略)

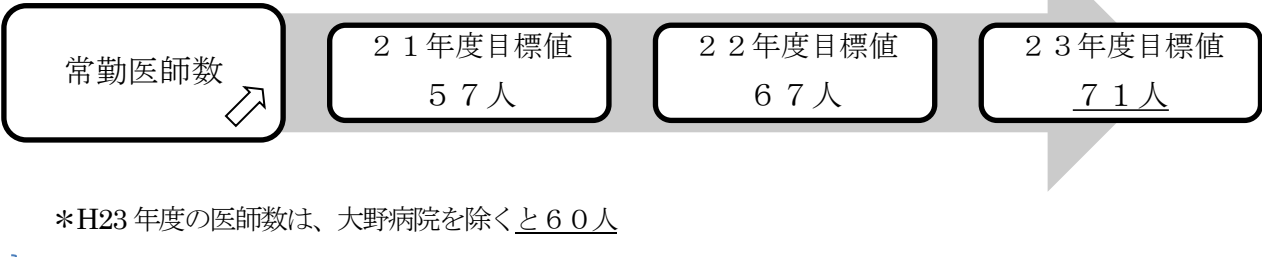
○ 共通目標



○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
共通取組	◆常勤医師の確保（再掲） 安定的な診療体制の確立を図るため、関係機関等と連携しながら、常勤医師を確保する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
会津総合病院	◆臨床研修医の受入 指導体制の充実を図りながら、臨床研修病院として研修医の受入を行い、プライマリケアに主眼を置いた研修プログラムを実施し、総合的な診療能力を持つ医師を養成する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【－】 ※会津医療センター移行

同左



同左

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆常勤医師の確保（再掲） 安定的な診療体制の確立を図るため、関係機関等と連携しながら、常勤医師を確保する。	【継続】	【継続】	【継続】
会津総合病院	◆臨床研修医の受入 指導体制の充実を図りながら、臨床研修病院として研修医の受入を行い、プライマリケアに主眼を置いた研修プログラムを実施し、総合的な診療能力を持つ医師を養成する。	【継続】	【継続】	【継続】

宮下病院	◆臨床研修医や実習生の受入 宮下病院等後援会からの支援を受けながら、県立医科大学や会津総合病院との連携の下、協力型臨床研修病院として臨床研修医師を積極的に受け入れるとともに、家庭医プログラムに基づく実習生の受入体制を強化する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
	◆自治医科大学福島県人会夏期研修等の受入 自治医科大学福島県人会のへき地医療体験研修を積極的に支援することで、本県出身の医学部生への将来的なへき地医療従事の動機付けとなることを目指す。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
南会津病院	◆研修病院としての役割 県立医科大学や自治医科大学等との連携の下、臨床研修病院（協力型）として臨床研修医師や家庭医プログラムに基づく実習生等の受入体制の強化を図る。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
病院局	◆医科大学との連携による医師確保の強化 県立医科大学や自治医科大学等との連携強化、近隣県や東京都内の医科大学への医師派遣依頼などにより、医師確保対策の強化を図る。 また、県の医師確保緊急対策プログラムに基づき、医師確保を図る。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実

取組機関	取組内容	取組年度				
		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
病院局	◆公募による医師確保 医師紹介事業者の活用、インターネットを始め様々な広報媒体の活用、本県に興味を持っている県外在住者へのPR等、公募による医師確保対策の強化を図る。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実
	◆医師の処遇改善 県立病院に勤務する医師について、給与の見直し、医療事務作業補助者の配置などによる勤務負担の軽減、研修制度の充実など処遇改善を図り、医師にとって魅力ある職場づくりを行う。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実
	◆中長期的な医師確保 将来に向けた医師の確保を図るため、医学部生への修学資金の貸与、臨床研修医の受入れなどを行う。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】

宮下病院	◆臨床研修医や実習生の受入 宮下病院等後援会からの支援を受けながら、県立医科大学や会津総合病院との連携の下、協力型臨床研修病院として臨床研修医師を積極的に受け入れるとともに、家庭医プログラムに基づく実習生の受入体制を強化する。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆自治医科大学福島県人会夏期研修等の受入 自治医科大学福島県人会のへき地医療体験研修を積極的に支援することで、本県出身の医学部生への将来的なへき地医療従事の動機付けとなることを目指す。	【継続】	【継続】	【継続】
南会津病院	◆研修病院としての役割 県立医科大学や自治医科大学等との連携の下、臨床研修病院（協力型）として臨床研修医師や家庭医プログラムに基づく実習生等の受入体制の強化を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
病院局	◆医科大学との連携による医師確保の強化 県立医科大学や自治医科大学等との連携強化、近隣県や東京都内の医科大学への医師派遣依頼などにより、医師確保対策の強化を図る。 また、県の医師確保緊急対策プログラムに基づき、医師確保を図る。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実

取組機関	取組内容	取組年度		
		21 年度	22 年度	23 年度
病院局	◆公募による医師確保 医師紹介事業者の活用、インターネットを始め様々な広報媒体の活用、本県に興味を持っている県外在住者へのPR等、公募による医師確保対策の強化を図る。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実
	◆医師の処遇改善 県立病院に勤務する医師について、給与の見直し、医療事務作業補助者の配置などによる勤務負担の軽減、研修制度の充実など処遇改善を図り、医師にとって魅力ある職場づくりを行う。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実
	◆中長期的な医師確保 将来に向けた医師の確保を図るため、医学部生への修学資金の貸与、臨床研修医の受入れなどを行う。	【継続】	【継続】	【継続】

◆目標管理の実施

5つの視点に沿った基本方針を踏まえ、良質な医療の提供と健全な病院経営の実現に向けた取組みを実施していくとともに、定期的に取り組みの進捗状況や課題の検討などを行う。

【継続】

【継続】

【継続】

【継続】

【継続】

目標 2

・医療安全対策の強化

(略)

○ 共通目標

医療安全研修参加率

21年度目標値
85%以上

22年度目標値
90%以上

23年度目標値
90%以上

24年度目標値
90%以上

25年度目標値
90%以上

23年度実績値
64.4%

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
共通取組	◆専任の医療安全担当による管理体制の強化や研修会の開催等による安全対策の強化 ○専任の医療安全担当を配置する。 ○医療安全対策委員会等の活動を強化して、医療事故防止や院内感染防止に関する情報の収集やアクシデント・インシデント事例の検証等を行う。 ○定期的に医療事故防止のための研修会を開催し、マニュアルの見直しや改善事項等について職員への指示を徹底するなど、医療の安全確保に総合的かつ組織的に取り組む。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
会津総合病院	◆オーダーリングシステム・電子カルテシステムの導入による安全・安心な医療の提供 システムによる禁忌投薬等の防止やバーコードチェックによる患者誤認の防止など、安全安心な医療の提供を行う。	【新規】 21年3月稼働	【継続】	【継続】	【継続】	【一】 ※会津医療センター移行

◆目標管理の実施

5つの視点に沿った基本方針を踏まえ、良質な医療の提供と健全な病院経営の実現に向けた取組みを実施していくとともに、定期的に取り組みの進捗状況や課題の検討などを行う。

【継続】

【継続】

【継続】

同左

同左

同左

同左

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆専任の医療安全担当による管理体制の強化や研修会の開催等による安全対策の強化 ○専任の医療安全担当を配置する。 ○医療安全対策委員会等の活動を強化して、医療事故防止や院内感染防止に関する情報の収集やアクシデント・インシデント事例の検証等を行う。 ○定期的に医療事故防止のための研修会を開催し、マニュアルの見直しや改善事項等について職員への指示を徹底するなど、医療の安全確保に総合的かつ組織的に取り組む。	【継続】	【継続】	【継続】
会津総合病院	◆オーダーリングシステム・電子カルテシステムの導入による安全・安心な医療の提供 システムによる禁忌投薬等の防止やバーコードチェックによる患者誤認の防止など、安全安心な医療の提供を行う。	【新規】 21年3月稼働	【継続】	【継続】

病院局	◆医療安全対策プロジェクトチームの開催 各病院の医療安全担当責任者で構成される医療安全対策プロジェクトチームを定期的に開催し、一層の安全な医療の提供を図るため、リスク情報収集や調査分析を行うなど、医療事故防止対策の強化に組織的に取り組む。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
病院局	◆医療安全対策プロジェクトチームの開催 各病院の医療安全担当責任者で構成される医療安全対策プロジェクトチームを定期的に開催し、一層の安全な医療の提供を図るため、リスク情報収集や調査分析を行うなど、医療事故防止対策の強化に組織的に取り組む。	【継続】	【継続】	【継続】		
基本方針４：職員の資質向上と人材育成						
《人材の育成の視点》						
1 方針						
(略)						
2 共通目標と重点取組事項						
目標 1 人材の育成と確保						
(略)						
○ 共通目標						
<div>資格取得支援者数 ↗</div> <div>21年度目標値 20人</div> <div>22年度目標値 20人</div> <div>23年度目標値 20人</div> <div>24年度目標値 18人</div> <div>25年度目標値 10人</div> <div>23年度実績値 13人</div> <div>*H25年度の支援者数は、会津医療センター移行のため前年度減</div>						
同左						
<div>資格取得支援者数 ↗</div> <div>21年度目標値 20人</div> <div>22年度目標値 20人</div> <div>23年度目標値 20人</div>						

○ 重点取組事項							} 同左				
取組機関	取組内容	取組年度					取組機関	取組内容	取組年度		
		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度			21 年度	22 年度	23 年度
共通取組	◆各専門分野のスペシャリストの育成 病院内の組織の活性化と職員のモチベーションの向上を図るため、業務推進に当たってのリーダーを育成するとともに、職員の資質向上を図ることを目的に、医療スタッフの専門的で高度な知識や技能の習得を計画的に進める。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	共通取組	◆各専門分野のスペシャリストの育成 病院内の組織の活性化と職員のモチベーションの向上を図るため、業務推進に当たってのリーダーを育成するとともに、職員の資質向上を図ることを目的に、医療スタッフの専門的で高度な知識や技能の習得を計画的に進める。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆人材育成のための各種研修会への参加や院内教育の充実 職員の資質向上と組織全体の活性化のため、各種研修会や学会等への参加機会の拡充を図るとともに、病院内における職員教育・研修計画に基づき各種研修会等を定期的に開催する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】		◆人材育成のための各種研修会への参加や院内教育の充実 職員の資質向上と組織全体の活性化のため、各種研修会や学会等への参加機会の拡充を図るとともに、病院内における職員教育・研修計画に基づき各種研修会等を定期的に開催する。	【継続】	【継続】	【継続】
矢吹病院	◆県立医大看護学部企画の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の積極的参加 職員の資質向上に取り組む環境づくりを進めるため、地域ケアに必要な知識・技術の習得や事例検討、実践によって、長期在院精神疾患患者に対する看護のレベルアップを目指す「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」への参加を促進する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	矢吹病院	◆県立医大看護学部企画の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の積極的参加 職員の資質向上に取り組む環境づくりを進めるため、地域ケアに必要な知識・技術の習得や事例検討、実践によって、長期在院精神疾患患者に対する看護のレベルアップを目指す「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」への参加を促進する。	【継続】	【継続】	
会津総合病院	◆既取得資格の更新に係る支援検討 病院経営上有益な資格を既に有する者に対して、その資格更新に係る経費の支援を検討する。	【新規】 検討 実施	【継続】	【継続】	【継続】	【－】 ※医療 センタ 一新設	会津総合病院	◆既取得資格の更新に係る支援検討 病院経営上有益な資格を既に有する者に対して、その資格更新に係る経費の支援を検討する。	【新規】 検討 実施	【継続】	【継続】
病院局	◆資格取得支援 専門的な知識と技能を持った職員の育成を図るため、全職種で資格取得等のスキルアップの支援体制を確立する。	【見直】 体制整備	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	病院局	◆資格取得支援 専門的な知識と技能を持った職員の育成を図るため、全職種で資格取得等のスキルアップの支援体制を確立する。	【見直】 体制整備	【継続】	【継続】
取組機関	取組内容	取組年度					取組機関	取組内容	取組年度		
		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度			21 年度	22 年度	23 年度
病院局	◆民間実務経験者の採用 これまで培った豊富な経験や専門知識を活用しながら、県立病院の経営改善を図るため、病院経営の管理・監督、企画立案、医療事務等の能力を備えた民間実務経験者を採用する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	病院局	◆民間実務経験者の採用 これまで培った豊富な経験や専門知識を活用しながら、県立病院の経営改善を図るため、病院経営の管理・監督、企画立案、医療事務等の能力を備えた民間実務経験者を採用する。	【継続】	【継続】	【継続】

	◆経営感覚を持った職員の育成 経営感覚を持った職員の育成を図るため、初任者研修会や部門横断的な研修会等でワークショップを開催し、各職員が主体的に業務の問題点を洗い出すとともに、解決策を見いだしていく。	【新規】 開催	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実
目標2・職員の意識改革						
(略)						
○ 共通目標						
<div>職員提案件数</div> <div>21年度目標値 140件以上</div> <div>22年度目標値 155件以上</div> <div>23年度目標値 140件以上</div> <div>24年度目標値 100件以上</div> <div>25年度目標値 40件以上</div> <div>*H23年度の提案件数は、大野病院を除く</div> <div>*H25年度目標値は、会津医療センター移行のため前年度減</div> <div>23度実績値 93件</div>						
○ 重点取組事項						
取組機関	取組内容	取組年度				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
共通取組	◆職員提案制度の実施 職員の病院経営への参加意識の向上を図るため、患者サービスの向上や業務の効率化、経費の削減・収益の向上に向けた職員提案制度を充実する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
病院局	◆病院経営セミナーの開催 職員一人一人の病院運営への主体的参加の意識を促すため、医療を取り巻く環境について、各病院職員に周知するセミナーの実施などにより、病院経営の情報の共有化を図る。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実

	◆経営感覚を持った職員の育成 経営感覚を持った職員の育成を図るため、初任者研修会や部門横断的な研修会等でワークショップを開催し、各職員が主体的に業務の問題点を洗い出すとともに、解決策を見いだしていく。	【新規】 開催	【見直】 充実	【見直】 充実
同左				
同左				
<div>職員提案件数</div> <div>21年度目標値 140件以上</div> <div>22年度目標値 155件以上</div> <div>23年度目標値 165件以上</div> <div>*H23年度の提案件数は、大野病院を除くと140件</div>				
同左				
取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆職員提案制度の実施 職員の病院経営への参加意識の向上を図るため、患者サービスの向上や業務の効率化、経費の削減・収益の向上に向けた職員提案制度を充実する。	【継続】	【継続】	【継続】
病院局	◆病院経営セミナーの開催 職員一人一人の病院運営への主体的参加の意識を促すため、医療を取り巻く環境について、各病院職員に周知するセミナーの実施などにより、病院経営の情報の共有化を図る。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実

基本方針5：地域との連携・共生

《地域連携の視点》

1 方針

(略)

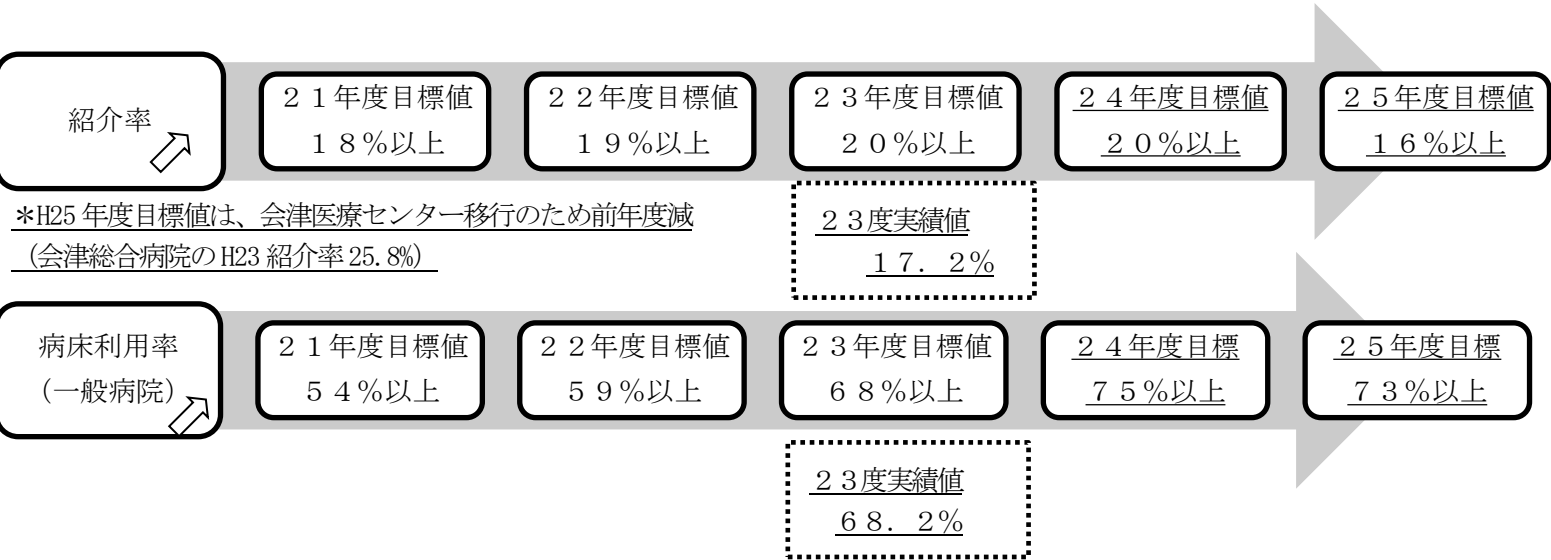
2 共通目標と重点取組事項

目標 1

・地域医療機関等との連携

(略)

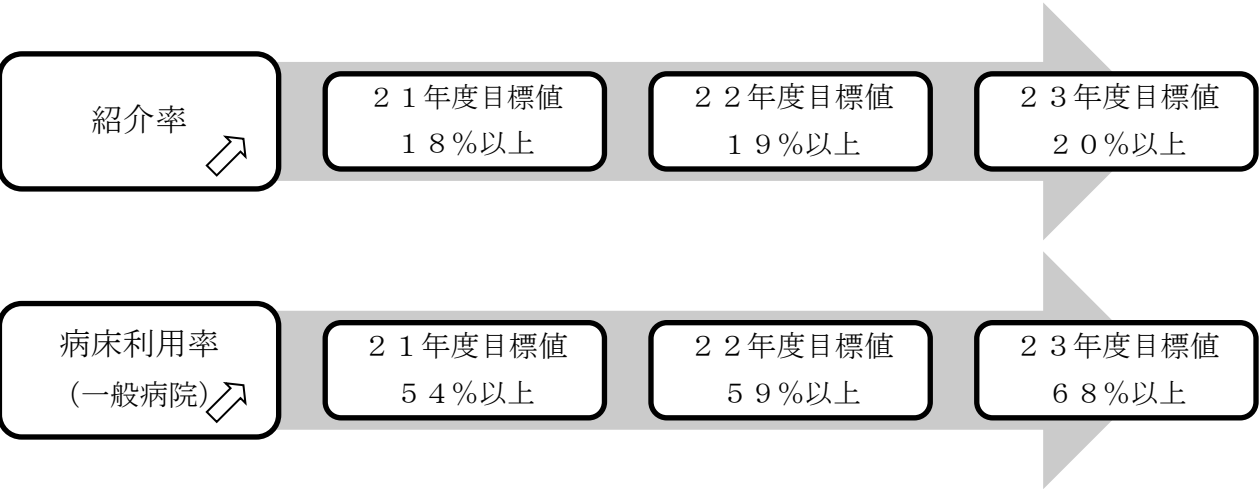
○ 共通目標



○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
共通取組	◆地域の医療機関、介護施設、訪問看護ステーション等との連携強化 地域の医療機関や保健・介護福祉施設と連携を強化し、新規患者数の増加を図るとともに、退院支援体制を構築する。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】

同左



同左

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆地域の医療機関、介護施設、訪問看護ステーション等との連携強化 地域の医療機関や保健・介護福祉施設と連携を強化し、新規患者数の増加を図るとともに、退院支援体制を構築する。	【継続】	【継続】	【継続】

矢吹病院	◆地域生活移行へ向けた支援体制の強化 地域医療担当部門を設置し、地域との連携や患者の地域生活移行への支援体制の強化を図る。	【新規】 検討	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
	◆患者のグループホームへの円滑な移行 「入院医療中心から地域生活中心へ」という精神保健医療福祉改革ビジョンの基本的な考え方を踏まえ、長期の社会的入院患者の退院、社会復帰を促進するため、関係機関との連携を強化しながら、患者のグループホームへの円滑な移行支援を行う。 また、こうした取組みにより平均在院日数の短縮を図る。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】

取組機関	取組内容	取組年度				
		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
矢吹病院	◆県立医大看護学部との共同研究実施による患者の地域生活移行に向けた活動の強化 県立医科大学看護学部との共同研究では、入院患者を三群に分類し、社会復帰支援に向けたアプローチを行っているが、今後、リハビリテーション組織の在り方や会議の定期開催数などの見直しを図る。	【見直】 検討開始	【見直】 実施	【継続】	【継続】	【継続】
会津総合病院	◆へき地医療拠点センター病院としての支援 喜多方病院、宮下病院、南会津病院へ診療応援を実施することで、へき地医療拠点センター病院としての役割を果たす。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【一】 ※医療 センタ ー新設
宮下病院 南会津病院	◆国保診療所への診療応援 常勤医師の確保・定着を図り、地域の国保診療所へ医師を派遣するなど、へき地医療拠点病院としての役割を果たす。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
病院局	◆地域連携の取組に対する各病院への支援 各病院と連携を図りながら、地域連携の取組みへの支援を行う。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
	◆県立病院収益確保対策プロジェクトの実施（再掲） 平成22年度診療報酬制度改定や、DPC導入への対応、地域連携の強化による患者確保などに向けた対策を講じるため、経営改善に向けて組織されている病院経営検討会に、実務担当者レベルのメンバーを加え発展させ、定期的に部門横断的な検討を行い、具体的に取り組む。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実

矢吹病院	◆地域生活移行へ向けた支援体制の強化 地域医療担当部門を設置し、地域との連携や患者の地域生活移行への支援体制の強化を図る。	【新規】 検討	【継続】	【継続】
	◆患者のグループホームへの円滑な移行 「入院医療中心から地域生活中心へ」という精神保健医療福祉改革ビジョンの基本的な考え方を踏まえ、長期の社会的入院患者の退院、社会復帰を促進するため、関係機関との連携を強化しながら、患者のグループホームへの円滑な移行支援を行う。 また、こうした取組みにより平均在院日数の短縮を図る。	【継続】	【継続】	【継続】

取組機関	取組内容	取組年度		
		21 年度	22 年度	23 年度
矢吹病院	◆県立医大看護学部との共同研究実施による患者の地域生活移行に向けた活動の強化 県立医科大学看護学部との共同研究では、入院患者を三群に分類し、社会復帰支援に向けたアプローチを行っているが、今後、リハビリテーション組織の在り方や会議の定期開催数などの見直しを図る。	【見直】 検討開始	【見直】 実施	【継続】
会津総合病院	◆へき地医療拠点センター病院としての支援 喜多方病院、宮下病院、南会津病院へ診療応援を実施することで、へき地医療拠点センター病院としての役割を果たす。	【継続】	【継続】	【継続】
宮下病院 南会津病院	◆国保診療所への診療応援 常勤医師の確保・定着を図り、地域の国保診療所へ医師を派遣するなど、へき地医療拠点病院としての役割を果たす。	【継続】	【継続】	【継続】
病院局	◆地域連携の取組に対する各病院への支援 各病院と連携を図りながら、地域連携の取組みへの支援を行う。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆県立病院収益確保対策プロジェクトの実施（再掲） 平成22年度診療報酬制度改定や、DPC導入への対応、地域連携の強化による患者確保などに向けた対策を講じるため、経営改善に向けて組織されている病院経営検討会に、実務担当者レベルのメンバーを加え発展させ、定期的に部門横断的な検討を行い、具体的に取り組む。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実

目標2

・県民への情報提供

(略)

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度				
		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
共通取組	◆ホームページの充実と院外広報誌の発行 医療に関する情報や院内活動等を地域に幅広く伝えるため、ホームページの充実や院外広報誌の発行を通じて、情報発信機能の強化を図る。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】
	◆イベントの開催による地域住民との交流促進 健康講座や音楽コンサート等の開催、地元市町村等が主催する医療講演会等への職員派遣などにより、病院の持つ専門的な知識や最新情報を提供し、地域の方々の医療に関する理解促進と普及啓発を図る。	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】	【継続】

同左

取組機関	取組内容	取組年度		
		21 年度	22 年度	23 年度
共通取組	◆ホームページの充実と院外広報誌の発行 医療に関する情報や院内活動等を地域に幅広く伝えるため、ホームページの充実や院外広報誌の発行を通じて、情報発信機能の強化を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆イベントの開催による地域住民との交流促進 健康講座や音楽コンサート等の開催、地元市町村等が主催する医療講演会等への職員派遣などにより、病院の持つ専門的な知識や最新情報を提供し、地域の方々の医療に関する理解促進と普及啓発を図る。	【継続】	【継続】	【継続】